

TD 勉強会 増刊号

ジェットスターとエアアジアが提携

(capa.com, 1/06/2010)

Jetstar (豪) と AirAsia (マ) が、1 月 6 日共同記者会見を開き、両社間のコスト削減を主たる目的とした提携を発表した。この提携の中核を成すのは、2020 年以降に更新が予定されている次世代一本通路機 (A320 及び B737) の航空機メーカーに対するスペシフィケーションの共同提案。両社は、この提携でアジア太平洋地域で激化する LCC 間の競争への対応力を更に強化する。この提携は、エアバスとボーイングに対してプレッシャーを与えるだろう。

QF CEO Alan Joyce は、この新たなコスト削減を狙ったアライアンスは、今迄の伝統的航空会社間とは異なる画期的なモノだと言っている。アライアンスに含まれる提携は以下の通りである。

- ・ 将来のフリート仕様 (スペシフィケーション)
- ・ アジア地区における空港旅客とランプ ハンドリング
- ・ 航空機部品の共同プール
- ・ エンジニアリング、整備サプライとサービスの共同調達
- ・ スケジュール イレギュラー発生時の相互支援

1 年前から、業界では Jetstar と AirAsia の株式相互保有を含む幅広い提携に関する協議が持たれているという噂が流れていた。

AirAsia は、世界で最も低い単位コストを誇る低コスト航空会社で、国内線 61

路線と国際線 108 路線を展開し、マレーシア、タイ、インドネシアのハブ空港から毎日 400 便を運航している。2007 年 8 月に豪州線の運航を開始した姉妹会社の AirAsia X は、現在中国、英国、中東に路線網を拡大している。

Jetstar グループは、豪州とニュージーランドから運航している QF の完全子会社で、提携会社にはシンガポールの Jetstar Asia と Valuair に加えベトナムの Jetstar Pacific がある。Jetstar/Valuair は、51% が Westbrook Investment Pte Ltd、49%が QF によって保有されている。Jetstar Pacific の 27%は、QF が保有している。Jetstar グループは、15 ヶ国へ週 1,900 便を運航している。

